

びとう和広後援会ニュース

2011.10.11

第30号

発行責任者
小倉義彦

安心と元気の三田めざして 頑張ります！



今年は10/15(土)開催

昨年10/23開催の 三菱電機オータム フェスティバル

めっきり秋らしくなってきました。後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、朝夕の冷え込みに体調など崩されませぬよう、心よりお祈りいたします。

3月11日発生した東日本大震災は大津波を伴い、北陸東沿岸に大きな被害を与え、さらに福島原子力発電所にも大被害を与え、エネルギー供給や放射能問題を引き起こしてから、7カ月が過ぎます。国政は民主党三人目の野田首相が誕生し、大臣着任早々辞任など混乱はあるものの、どじょうのように泥臭く、と控えめに頑張っておられます。早急の復旧・復興が望まれるところです。今は、国難の時、与党・野党に関係なく、国民のための政策を一刻も早く進めてほしい、そう願うこのごろです。

三田市長選挙では、堅実な市政を進めてきた竹内市長が二期目の当選、一層の安心市政をめざします。

三田市においては、市民病院の医師・看護師の増員で、300床全床の運用が再開できました。駐車待ちで入口渋滞を緩和するため駐車場の50台増設で500台まで駐車できるようになりました。また高額な支払いにカード払いも可能となり、着実に市民の安心の拠点を進めています。

市議会では、7月補欠選挙で3人の新人が加わり24人体制となりました。私たち民主党会派にも田中秀典議員が加わり、また、無会派の坂本三郎議員も加入し、5人の会派「志民(しみん)の会」を発足しました。最大会派として発言力も増します。

9月議会には、3月に議決した議員定数2減(24⇒22)を不服とし、さらに2減を求めた直接請求は、新人1名を除き反対し、否決となりました。

後援会では、10月5日三菱電機三田製作所構内にて市政報告会を開催し、竹内市長2期目の課題を説明するとともに、びとうの活動を報告いたしました。また、10月15日開催の三菱電機オータムフェスティバルに協賛し、くじ引きコーナーを開きます。さらに、11月30日にボウリング大会を計画しています。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

これからも、皆様の声をお聞きし、市民サービスの向上、安心安全・活気活力のある三田に向け、精一杯頑張ってお参ります。皆様の一層の力強いご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



三田市議会議員 びとう かずひろ 和広



竹内市政二期目スタート

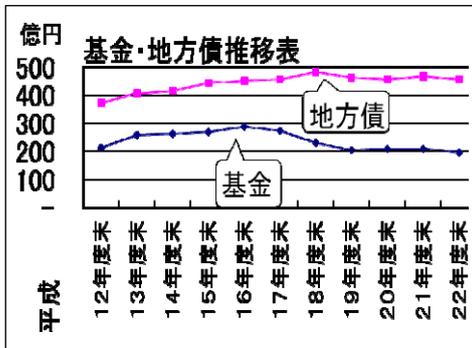
7月24日、三田市長選挙が施行されました。当初無投票ともささやかれた状況から一転、三田維新の会(橋下徹大阪府知事の「大阪維新の会」とは全く無関係)を名乗る対立候補が現れ、毎日街宣とビラを続ける情報型の選挙での浮動票狙いでした。

今回は、現職竹内市長の一期四年間の着実な実績とまじめな人柄で、結果的には大差での勝利となりました。しかし、投票率が34.11%と過去最低で、信任投票としては厳しい選挙でした。

一期四年間の総括

「信頼される市政」「責任ある市政」を目標に Manifesto のほとんどを実現し、以下の三大課題もほぼ実現できました。

- ① 財政健全化への行財政改革
経常収支比率 93.4% 実現
- ② 市民病院の再生
医師・看護師確保で全床復活
- ③ 三田駅前再開発の立て直し
キッピーモールは単年度黒字



基金が貯金、地方債が借金です。グラフを見ての通り、地方債を増やすことなく、基金をほとんど切り崩さずに進められたことが分かります。着実な財政改善は、評価できます。

諸課題の解決により、市の更なる発展と市民生活の向上に活かされました。その結果、全国的にも高い評価で「住みよいまち」ランキングでは、全国93位/809市、近畿16位/111市となりました。

「住みよいまち」「子育てしやすいまち」を発信することで、停滞していた人口も増加に転じ、8月25日11万5千人超で過去最高を記録しました。

市長二期目の公約

まず、三大基本政策。

① 若い世代の入居と定着

持続的発展のためには、高齢化社会を支える若い力が必要です。

- ・安心して産み育てられる環境整備
- ・子育て支援策の拡充
- ・学校教育の充実
- ・若者の雇用の確保 など

子育て先進地の魅力を発信して、若い世代の入居と定着を促進します。

② 協働のまちづくり

住み慣れた地で安心して暮らせる地域社会にするためには、

- ・「共に生き、共に支える」地域づくり
- ・市民生活重視・福祉優先施策推進
- ・地域課題を地域・行政が分担・解決が必要です。そのための「協働のまちづくり」システムを構築し、「まちづくり基本条例」の制定、先導する職員地域担当制の導入を図ります。

③ 地域の活性化

- 資源・財産・人材を活かし、将来の発展に向け活力のあるまちづくりを進めます。そのため、
- ・産・官・学の連携
- ・新時代対応の産業施策
- ・にぎわいと活力のある地域づくりを図り、基盤整備で周辺地域をリードする中心都市をめざします。

以上3点を基本に以下のまちづくりを引き続き前進させます。

- 「子育てがしやすいまちづくり」
- 「安心して暮らせるまちづくり」
- 「環境にやさしいまちづくり」
- 「文化の香り高いまちづくり」
- 「にぎわいと活力のあるまちづくり」

竹内市政二期目の課題

今、市が抱える課題を列挙します。

① 総合計画の遅れ

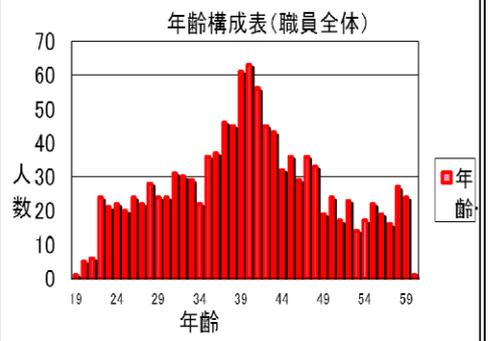
市民委員にかき回され、策定が難航中の「まちづくり基本条例」の影響で、来年4月施行予定が、6月議会に議案提出と延期が発表されました。

現3次総合計画が平成23年3月で満了するため、計画の空白期間となります。「まちづくり基本条例」は全ての基礎となる条例だけに、全体のスケジュールに影響します。

市民参加・参画のあり方に課題が見えてきました。素案を作ったメンバーがそのまま策定に残ると、どうしても集約が難しくなります。

② 市職員の年齢構成

団塊世代が退職し、幹部の世代が少ない時代が続くため、人材の確保と育成が重大課題となります。



グラフは職員の年齢別人数です。50代が少ないことが見て取れます。

③ 地域担当制導入

地域主体に先導的役割の職員を配置するというが、不確定項目として

- ・各市民センターの体制と責任
- ・地域予算のあり方
- ・人材の確保と育成 等があります。

そして、最重要課題「都市部と郡部の格差をどうするか？」の対策が見えないのが問題です。

④ 国の財政難に伴う交付金減額

三田市は四年間の行財政改革が期間満了ですが、大震災など国難のとき、国の交付金は減り、負担は増えます。決算委員会で市長は回復を明言されましたが、さらに一層の改革が必要ですが、どこで削減を図るか、事業ごとに、継続か新規改革案か、知恵の出どころです。

⑤ 駅周辺の再開発

三田駅南Bブロックの開発遅れで、キッピーモールの裏に14階建ての商業・マンション複合ビルが未定です。

三田駅の南周辺地域・北周辺地域とも整備課題が残っています。

⑥ 第二テクノパーク開発

国内工場での悪条件として

- ・経費高(電力・環境負荷など)や
- ・円高・税金高等により、海外転出が進行中です。今こそ「ものづくり」と誘致の支援が必要です。

びとうの活動レポート

皆様との交流の一コマを写真でレポートしてみました。

三菱電機労連の定期大会

三菱電機労連中央関西地区
2011年度 定期大会

西部研究所支部のフレッシュプランで、毎年百人近く入社する西部研究所、元気です。

西部研支部のフレッシュプラン



7/28

三菱電機関連労組の大会に参加しご挨拶
議会議改革の状況、特に広報の実績をご報告しました。

9/11

小学生バレーの表彰式



7/30

三菱電機労組三田支部のフレッシュプランに参加
組合と政治活動の関係を、実例を交えて説明しました。

三田支部のフレッシュプラン



寮の避難訓練に参加

8/27

寮の火災避難訓練に参加しご挨拶。
地道な訓練が万一の時に大きな効果を発揮します。



天満神社例大祭

10/2

天満神社の例大祭の式典
本殿に入る前のお祓いです。
式典だけ羽織を着ます。
羽織を脱いだら地車ひきです。

びとう和広の視点

■<安全について>

ひやりハット事例は、安全の基本です。一つの重大事故の裏に、小さな事故が29、危ないと感じていた事例が300ある、とも言われます。今回は私なりの安全事例を書いてみます。

①・段差の表示

三田にはよくある段差です。何台か脱輪を見ていましたので、ポールを立てていただきました。慣れた人にはむしろ邪魔かもしれませんが、夜の運転や初心者には必要と認められ実現しました。



見えにくい

段差



駐車禁止、でも少しだけ

② 駐車禁止帯の路肩停車

写真はケーキ屋さんの前の駐車ですが、路肩線を大きくはみ出しています。お店の前に駐車場の案内が掲示されていますが、駐車場は裏通りで少し遠いため、多くの車が路肩に寄せて停めるか、運転手が残って待つかが多くなります。この場所は左からT字路で合流するため特に危険です。警察には、悪質な駐車は取り締まっていただいています。

同様の事例が三田駅キッピーモール前をはじめたくさんあります。皆様のお気づきをお知らせください。

③ 警報に対する対応

今年は、台風の影響による大雨洪水警報が何回も発令されました。そのたびに学校は休校・半日休校・自宅待機で、学校も大変だったと思います。

下の写真は、警報発令のため帰宅途中に夕立にあった学生です。帰宅指示のタイミングの難しさを感じます。警報だから帰宅ではなく、状況を判断する情報が必要です。警報と合わせて降雨や雷の判断ができる情報を得る仕組みを提案してまいります。



警報で帰宅中に夕立

びとう和広後援会より

後援会では、7月13日菱和会館にて市政懇談会、10月5日三菱電機三田製作所構内にて市政報告会を開催しました。たくさんのご参加ありがとうございました。

10月15日開催の三菱電機オータムフェスティバルに協賛し、くじ引きコーナーを開きます。ぜひお立ち寄りください。

11月30日には、スーパーポウルにてボウリング大会を計画しています。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

今の議会が議会改革の成果として委員会など活発になったこと、また、議員定数の直接請求など議会運営が慌しくなったこともあり、副議長や議会での拘束時間が多く、ご挨拶にあまり回れませんでした。10月24日に役職改選となりますので、改めて、後援会の皆様のお宅に訪問し、ご意見・ご要望をお聞きいたしますので、よろしくをお願いいたします。

構内市政報告会



10/5

三菱電機オータム フェスティバル 今年は10/15開催

メインステージプログラム

- 11時00分 開場
- 11時10分 軽音楽部ライブコンサート
- 11時35分 実行委員長開会宣言
- 11時45分 海賊戦隊ゴーカイジャーショー
- 12時25分 有菱会会長挨拶・ご来賓挨拶
- 12時30分 有菱会企画
「目指せ旅行券 ○×ゲーム大会！」
- 13時30分 爆笑ライブ
桜 稲垣早希
ガリガリガリクソン
プラスマイナス
- 14時25分 お楽しみ！
オータムフェスティバル大抽選会！！
- 15時00分 閉会宣言

昨年のフェスティバルで抽選



三菱電機三田製作所構内にて

後援会会長のご挨拶

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます

『びとう和広』は初当選以来、三田市の全体と将来を思い、財政はじめ多くの課題に取り組み、皆様とともに、安心・安全で元気なまちづくりのため、政策を進めています

現在7年目も、市議会副議長として、議会運営の中心としての責任を果たしてきました。議会改革活動も精力的に進め、議員定数削減はじめ、議会広報も大きな改革を実現しました。社会情勢に応じた議会・開かれた議会を推進しております。

後援会活動も皆様との対話を大切に、事業やご挨拶にと頑張っています。まだまだ未熟ではございますが、精一杯頑張っております。

来年9月には、三田市議会議員選挙が施行されます。後援会として、出来る限り後援会の皆様にお出合いし、より多くの皆様のお声をお聞きし、後援会の拡大を進めてまいり所存で御座います。

何卒、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

びとう和広後援会会長：

小倉 義彦

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730

<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

<ホームページ> <http://www.bitto-kazuhiro.com>